

市民文芸

短歌

令和四年阿南市春季短歌誌上大会 選

特選

母も児もチワワも恐怖で固まった写真は叫ぶ
「侵攻止めて」と 佐野 幸子

特選

〈生ききった〉そんな風情の百三歳旅立ちの日
の真澄む秋空 松本加代子

特選

紅ひけばばつと明るく若返るそんな日常はよ返
り来よ 庄野 悦子

特選

ダーリンと杳寿の君を呼んだなら照れた顔する
昔のように 四宮ちとせ

〈題詠〉『友』

優秀賞一位

老健の案内状にちいちゃんは「一緒に入る」と
風呂誘うよに 庄野 悦子

優秀賞二位

今のことたちまち忘れゆく友に卒業アルバムな
ぞって見せる 宮本久美子

優秀賞同点二位

こんなにも春の陽明るい病室に転院して来て友
は俯く 井上 正恵

俳句

阿南市俳句連合会 選

梅雨明けや空ひろびろと白い雲

米田 豊子

白南風しろなまかぜや洗いざらしのスニーカー

柏木 暁代

親と子に甚平着せる夕散歩

奥田 蒼朗

新築の寺美しき青葉かな

金本ひろみ

消毒の匂いの残る水着かな

吉崎 晶子

初蟬のしきりに鳴いてそれつきり

富永 恵女

超速は子燕思う親心

張本 可仙

二三步のあゆみうれしや裸の子

工藤千鶴子

雷や植物おほふく歡喜大光

藤崎 恵竹

雨上がり雫が遊ぶ蓮の葉で

鳥海 勇二

川柳

阿南川柳会 選

要る知識いらぬ知恵もスマホから

佐藤つたえ

まだマスク外せないのよ齒の治療

鈴木レイ子

断捨離へ庭まで出してまだ迷う

高木 旬笑

安全へ軽い靴買う初夏の風

田上 鶴子

ここだけは父に似るなと釘をさす

多田紀久代

ジーパンに粋な春靴卒寿坂

西田 修身

便利さに負けてスマホに強いる無理

橋本 征介

一般応募

藍染は阿波のブランド藍マスク

秋川 和子

ふくよかな胸に愛しい赤子の手

島尾美津子

ドキドキもあつた昔のページ

武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

初秋夜坐

雨洗殘炎涼有餘

雨は殘炎を洗つて 涼余り有り

蟲聲唧唧報秋初

虫声唧唧 秋初を報ず

無星無月寥寥夜

星無く月無く 寥寥の夜

燈火相親讀史書

灯火相親しんで 史書を読む

老翁愁思

運動公園散歩行

運動公園 散歩して行く

瓊花芳草不知名

瓊花芳草 名を知らず

庭球共興短靴跡

庭球共に興ぜし 短靴の跡

往事茫茫懷舊盟

往事茫茫 旧盟を懐う

庭前五葉松

ト家植樹造園蹤

家をトし植樹 造園の蹤

常緑青青五葉松

常緑 青青 五葉の松

運祚如斯長不欠

運祚は斯の如く 長に欠けず

堪霜凌雪色逾濃

霜に堪え雪を凌いで 色逾濃やかなり



市田 嘉則